

令和元年度 第1回シニアリーダー代表者会議 議事録

【日時】 令和元年9月4日 14:00～16:50

【会場】 中央コミュニティセンター8階

【参加者】

花見川区（志村様、日野様）
稲毛 区（高橋様、畑中様）
緑 区（花田様、吉田様）
中央 区（乳井様、遠藤様）
若葉 区（高橋弥夫様、高橋幸一様）
美浜 区（望月様、松田様）
千葉市地域包括ケア推進課（南川様、高塚様）
シニアリーダー事務局（安彦、竹之内） 計 16 名

【議題】

○連絡会補助対象経費について（地域包括ケア推進課 南川様）

・活動の中での経費については積極的に使っていただきたい。20万では足りない印象がある。活動経費について各会長にメールにて実際の状況を伺う予定。

・飲み物は項目に入っていないため、講師用の飲み物は対象とはならない。

○シニアリーダー事務局報告

・シニアリーダーの参加人数集計について

➤ 実績を集計すれば把握可能であり、今後事業展開のために検討する。

・実績報告について

➤ 表示してある教室と把握している教室に違いがある。

（事務局）集計の際に変更があった教室も集計していた可能性あり。

➤ 実活動数は連絡会資料での参加者を集計しており、区をまたいで活動している方は重複してカウントしている。

・視察件数について

- 痛みの確認について、毎回チェックにより参加者が委縮してしまっている教室もあれば、毎回痛みの確認を行い問題ない教室もある。
- 視察予定は区毎に役員と相談し情報共有を図る。
- 視察結果を連絡会でフィードバックしてほしい
 - 事務局内でも方法の統一を行う。（教室終了時に実施）
- 標準化にこだわりすぎている印象がある。
 - 体操の標準化も目的だが、体操教室の運営方法なども確認している。

・ちばシティポイント実績報告について

- 1回/1月 → 1回/3月 に変更
 - 9月連絡会にて報告（9月分より変更）
- 基本的に今までの作業は変わらない。事務局への送信作業が3月に1回に減る。シニアリーダーの方々へのデメリットとしてはポイント付与が3月に1回となってしまうが、ご了承いただいた。

・医療機関より地域の体操教室につながった事例

- 病院の相談員やケアマネが動くことであり、病院との連絡は負担である。
 - （事務局）基本的には事務局が介入するため、シニアリーダーと病院でのやりとりは行わない。
 - （南川さん）病院からは体操教室に送ったということになり、退院後の参加者のフォローがシニアリーダーの負担になると感じているため、もう一度事務局と相談する。

・メーリングリスト終了に伴う今後の情報伝達方法について

- 事務局より各区会長または連絡担当者に連絡し、情報共有する方法
 - 各区で負担のない方法を選択していただく。
- シニアリーダー専用 HP の更新頻度を上げてほしい。

・ブロック化について（緑区 花田会長より）

- 鎌取 誉田 土気 3 地区で分けている。去年の 6 月から始動している。各ブロック 3 か月に 1 回会議を行っている。議題は各教室で困っていることや新規立ち上げの話をしている。一番のメリットは連絡会に出て来ない意見が拾えること。先輩 SL からの指摘によって嫌な思いをしている例があった。本音が出てくるのがメリット。各地域のあんしんも参加している。各ブロックでの代表は連絡会での役員候補としている。連絡会后にブロック代表も交えて意見交換している。ブロック会議での内容を連絡会で報告している。

・物忘れ対処法について学ぶ会

- 一般の資格などたくさんあり、安易に物忘れや自転車講習、AED を促すべきではない。シニアリーダーの知見を広げる活動は賛成である。などの意見が上がった。
 - ＞（事務局）あくまでも任意での参加となります。
- 自転車リーダーについては行政側で情報共有ができていなかった。
- 栄養かるた 次回の代表者会議までに提案予定。

・各区報告

<中央区>

- 交流会での飲み物の許可がほしい。
 - ＞事務局を通して許可を申請した（水またはお茶のみ）。

<花見川区>

- 連絡会参加者が 30 人しかいない。連絡会は事務局からの連絡がメインになっている。毎月シニアリーダーにとって役立つ内容の年間計画を立てている。シニアリーダーだよりを年間 3 回作成し、連絡会に出ていない方への情報共有している。

<稲毛区>

- 毎月連絡会で情報交換の場、懇親の場、勉強の場として活用している。シニアリーダーからは教室の報告などを行っている。行政との連携も充実してい

る。脳トレ研究会 月 2 回実施。会報第 3 号を計画中。

<緑区>

- 現在、小学校を会場として体操教室を実施しているが、有料である。連絡会の予算で計上しているが減らしたい。学校の施設利用料の検討をお願いしたい。運営委員会を作る必要もあり、大変である。
- 南川さんに対応していただく。

<美浜>

- 地域の特性上、地区の概念がなく、集落という感覚がないため、ブロック化は難しいかもしれない。各期生で代表者を作り連絡網を作成。7 期生のみの新規体操教室をつくり、会長・副会長のフォローで立ち上げ、その後各教室に振り分けていく。

<若葉区>

- 7.8 月で新規立ち上げが 5 カ所できた。無料ですべて実施できている。有料老人ホームでの体操教室では地域住民と入居者の受付を分けて、施設職員が入居者の対応をしている。シニアリーダーは普段の体操教室を提供している。会報を月 1 回発行し、情報共有、意思疎通を行っている。連絡会前に役員会を行っている。

<交流会>

- 10 人で円をつくり交流を図る予定。+αにフォーカスするのはどうかという意見が上がった。交流会とは？を考えた結果、ディスカッションする場を設けた。+αについてもディスカッションができればよいと考えている。